

経済学部 経済学科 現代経済専攻専攻 専門教育分野 TLO:Target and Learning Outcomes

科目区分 専門分野	授業科目名	科目コード ナンバー	ナン バ リ ン グ	科目 種 別	単 位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を追いとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー					
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
								経済社会のさまざまな現場において活躍するために幅広い分野の教養を身に付けている。	経済学およびその隣接学問分野に関する知識をもとに身に付けた情報・データを利用して、経済活動に関する制度や市場のメカニズムを理解している。	経済学およびその隣接学問分野に関する知識をもとに収集した情報・データを利用して、論理的に思考し、問題の解決を図ることができる。	内外における経済社会問題について、文化、価値観等の多様性に配慮して、グローバルな視点からバランスの取れた考え方を示すとともに、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	社会に対する関心と志を高くもち、身に付けた経済学的思考力を活かして社会に貢献する態度を有している。	社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、経済社会分野を中心に新しい可能性にチャレンジができる。
演習・卒業論文	基礎演習	M-SEM201	200	演習	2	経済学や関連する分野の学修を通じて、経済・社会現象を的確に捉える。主体的・自律的な学修により、課題の発見・分析・問題解決の方法を学ぶ。	プレゼンテーションとディスカッションができるようになること、合わせて論理的思考方法に習熟することをめざす。	○	○	◎	◎	○	
	専門演習	M-SEM301	300	演習	2	各専門演習のテーマについて、主体的な学修を通じて、自らテーマ研究を行い、グループ学修や実践的学修を行い、専門知識の修得と総合的な学修能力を磨く。	自分のテーマを設定し、実態把握、課題発見、考察と分析の実施、意見・提言の取りまとめ等、総合的な学修・課題研究能力を身に付け、卒業論文の作成を行える。		◎	◎	○	○	○
	卒業研究	M-SEM401	400		4	4年間の学習成果を論文のかたちで集大成する。論文のテーマは専門演習において教員の指導のもとに各自選定する。	4年間知識として学習した成果を活用し、みずから設定した課題の解決に独自に取り組むことができるようになる。		◎	◎	○	○	
基礎	数学入門	M-SCI103	100	講義	4	くらしや仕事に役立つ数学の基本を確実に習得し、数値の適切な読み方、利用の仕方に習熟し、「数字に強くなる」ことを目指す。	高校までに学んだ数学の復習を行い、数式の必要性や意味が理解できる。専門科目の数学的説明に対する苦手意識をなくし、SPI等の問題を効率的に解くことができる。	○	○	◎			
	簿記	M-ACC101	100	講義	4	簿記や会計学を学んだことがない初学者を対象に、簿記・会計の基礎を学修することを目的とする。	基礎的な用語・計算の理解、日商簿記3級レベルの学修内容の理解ができる。	○	◎	○		○	
	現代の経済	M-ECN106	100	講義	4	入門レベルの経済学の知識を身に付けた人を対象に、それが内外における現実の経済問題を考える上でどのように役立つかを理解する。	日本や世界が現代において直面する様々な経済問題を理解し、簡単な分析ができるようになる。		○	○		◎	
	基礎ミクロ経済学	M-ECN107	100	講義	4	最適化行動と効率的な資源配分について、以下の内容を学ぶ。(1)消費者行動理論、(2)生産者行動理論、(3)市場メカニズムの働きと効率性、(4)独占の特徴、(5)寡占とゲーム理論。	(1)需要曲線の導出、(2)供給曲線の導出、(3)市場の働きと効率性の関係の理、(4)独占とは何かについての理解、(5)ゲーム理論を応用した寡占等の分析、ができる。		○	◎		○	
	基礎マクロ経済学	M-ECN108	100	講義	4	生産物市場、貨幣市場、労働市場の相互作用により生産、雇用、物価が決まる仕組みを単純なマクロモデルを通じて理解する。	マクロ経済学を現実の様々な経済問題に適用して考察することができ、経済社会に対する理解を深めることができる。		○	◎		○	
理論・戦略	ゲーム理論	M-ECN207	200	講義	4	ゲーム理論の基本的な2つの道具、(1)利得行列、(2)ゲームの木、を使いこなせるようになる。	ゲーム理論を用いて、与えられた問題を解けるようになる。現実の問題をゲーム理論の分析道具によって表現できる。		◎	○			○
	行動経済学Ⅰ	M-ECN209	200	講義	4	人間の判断と意思決定について、心理学・脳科学の知見を用いて「非合理的な人間の判断・リアルな意思決定」を分析する手法を学ぶ。	「非合理的な人間」の心理学・脳科学的アプローチを用いて「リアルな人間の意思決定」を理解し、自分自身の意思決定メカニズムを深く理解できる。		◎	◎		○	○
	ビジネスエコノミクスⅠ	M-ECN214	200	講義	2	企業を経済学という視点から捉え、企業成長・イノベーション等の企業行動・マネジメント等を理解する。	企業の事例研究を各自で行える。事例研究から、企業行動と経済・市場との関係、そして企業戦略・意思決定等について各自の意見を発信できる。		◎	○	○	◎	
	計量経済学	M-ECN206	200	講義	4	経済学の実証分析に用いられる計量経済学的方法論を学ぶ。同時に経済理論についての理解を深めるとともに、その検証方法をも身に付ける。	経済データを自ら収集、整理をしたらうえて、回帰分析を中心とする実証分析ができる。		○	◎		○	◎
	経済データ	M-ECN225	200	講義	4	日本あるいは世界の経済に関するデータについて、それぞれの見方や意味、関連性などを学び、経済を理解するうえでのデータを理解する重要性について学ぶ。	様々な経済指標に関する基本的な知識を身に付け、それらの解釈ができるようになる。		○	◎		◎	○
	経済数学	M-ECN205	200	講義	4	高校までの数学を基礎に、初歩的な経済学で用いる数量分析の基礎を学ぶ。同時に経済理論の理解も深め、定量分析の意味を把握する。	因果関係や相互依存関係を線形代数や微分を用いて定式化する方法を体得し、経済学の入門書を支障なく読み進めることができる。		◎	○		○	○
	行動経済学Ⅱ	M-ECN314	300	講義	2	行動経済学Ⅰを基に発展的に、人間の判断と意思決定、心理学・脳科学の知見を用いて「非合理的な人間の判断・リアルな意思決定」を分析する手法をさらに深く学ぶ。	伝統的な経済学では説明しきれない現実の経済問題を自ら見つけ出し、行動経済学的接近を試みる手がさらなる深く学ぶ。		◎	○	○	◎	
	ビジネスエコノミクスⅡ	M-ECN326	300	講義	2	ビジネスエコノミクスⅠの基礎の上に、企業を経済学という視点から捉え、企業成長・イノベーション等の企業行動・マネジメント等のテーマをさらに深く理解する。	企業の事例研究をより高いレベルで行える。事例研究から、企業行動と経済・市場との関係、そして企業戦略・意思決定等について高度な分析に基づき各自の意見を発信できる。		◎	○	○	◎	
	産業組織論	M-ECN357	300	講義	4	(1)産業組織論の基礎であるミクロ経済学、とくに競争と独占の理論の理解を深め、(2)市場における企業間の競争分析の方法を学び、(3)競争促進・独占禁止の政策を学修する。	(1)産業組織論の基礎である競争と独占の理論、(2)市場における企業間の競争、(3)競争促進・独占禁止の政策、以上のようなテーマについて、各自で学んだ成果を発信できる。		◎	○		○	◎
	応用ミクロ経済学	M-ECN363	300	講義	4	基礎ミクロ経済学で学んだ内容をもとに、ミクロ経済学に関するより発展的な内容について理解することを目的とする。	厚生経済学の基本定理、情報の経済学、市場の失敗等について、理論的な分析を行えるようになることを目標とする。		◎	◎		○	○
応用マクロ経済学	M-ECN364	300	講義	4	基礎マクロ経済学で学んだ内容をもとに、マクロ経済学に関するより発展的な内容について理解することを目的とする。	基礎マクロ経済学では扱えなかった経済成長論や景気循環理論などの動学的な分析を行えるようになることを目標とする。		◎	◎		○	○	

科目区分 専門分野	授業科目名	科目コード ナンバ	ナン バ リ ン グ	科目 種 別	単 位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を追いとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー						
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
	マーケティング論	M-CME209	300	講義	4	マーケティングに関する基礎的な知識を習得し、実務におけるさまざまなマーケティング課題に対する洞察力を養うための学修を行う。	経済社会のさまざまな現場において活躍するために幅広い分野の教養を身に付けている。	○	○	○		◎		
	キャリア数学	C-SCI301	300	講義	4	社会人となった際、日々の業務の中で必要とされる数学の知識・技術を体得する。	ビジネスにおいて扱われる種々のデータに関し、数・データの意味を理解するとともに、その実践的な利用法を身に付ける。就職試験等で使われるSPI形式の問題にも対応できるようにする。	○			○	◎		○
ファイ ナ ン ス	金融論	M-ECN201	200	講義	4	金融理論の基礎知識を身に付け、日本の金融・経済の現状と将来展望、金融政策のあり方について学ぶ。	(1)金融経済の基礎知識獲得、(2)金融経済現象の分析、(3)金融政策・銀行の役割や業務、(4)新たな金融取引手法の理解、それらの内容を説明できる。			◎	◎	○	○	
	コーポレートファイナンス	M-ECN366	300	講義	4	企業活動に伴う資金調達・投資活動等に関し、現在価値の算出方法、資本コスト、ROE等の指標について理解する。	なぜビジネスを行うのか？企業価値とは何か？について、各自で学び、自分なりの答えを出すことができる。			◎	◎	○	○	
	ファイナンス特別演習Ⅰ	M-ECN229	200	演習	2	わが国の金融機関の概要、金融機関の業務、金融政策に関する基礎知識を学ぶ。	わが国金融の基礎について、自分の言葉で分かりやすく説明する力、また就職活動および実社会において必要なプレゼンテーション力を身に付ける。			◎	◎	○	○	
	ファイナンス特別演習Ⅱ	M-ECN332	300	演習	2	わが国の金融機関の概要、金融機関の業務、金融政策に関する基礎知識を理解し、わが国の金融サービス、金融政策などを学ぶ。	わが国金融の基礎について、自分の言葉で分かりやすく説明する力、また就職活動および実社会において必要なプレゼンテーション力を身に付ける。			◎	◎	○	○	
	ファイナンス特別演習Ⅲ	M-ECN365	300	演習	2	わが国の金融機関の業務・金融政策などに関する研究を通じて、金融機関のビジネスモデルなどの理解を深める。	わが国の金融機関・政策について、自分の言葉で分かりやすく説明する力、また就職活動および実社会において必要なプレゼンテーション力を身に付ける。			◎	◎	○	○	
	ファイナンス特別演習Ⅳ	M-ECN404	400	演習	2	わが国の金融問題を自ら発見し、課題を整理・分析し、金融政策に関する理解を更に深める。	わが国の金融機関・政策について、自分の言葉で詳しく説明する力、また就職活動および実社会において必要とされる高度なプレゼンテーション力を身に付ける。			◎	◎	○	○	
ファイ ナ ン ス 関 連 法	民法	M-LAW203	200	講義	4	民法等の私法の世界では、取引等の当事者間の関係を権利・義務（債権・債務）の関係として捉えることを理解したうえで、契約の締結をめぐる諸問題や不動産、不動産に関する権利の移転の仕組みを学ぶ。	契約や権利の移転に関する法的紛争が生じる際における当事者や第三者との利害対立の所在を理解し、それについてバランスのとれた見方を身に付ける。	○		◎		◎		○
	ビジネスと金融に関する法	M-LAW314	300	講義	4	株式会社の制度や金融取引・金融機関など金融の基本的な仕組みを法的観点から学ぶ。	企業に関わる法的問題を理解し、ビジネスに関する法的センスを身に付ける。			◎		◎	○	○
	税法	M-LAW307	300	講義	2	アルバイト給与や賞金等への所得税、毎日の生活に関わる消費税、毎年の会社決算に関わる法人税など、個人・法人の取引と税に関する学修。	(1)様々な税について正しく理解できる。(2)税に関する時事問題について、自分の考えを持つようになる。			◎		◎		○
国 際 経 済	国際経済学	M-ECN210	200	講義	4	現代の複雑な国際経済の構造について理解し、国際経済に関する重要記事を読みこなすことができるようになるための学修を行う。	国際貿易論、国際金融論の基本的な内容について理解し、さまざまな国際経済問題について貿易、国際金融の両面から、理論的ツールを用いて考察することができる。			◎	◎	○	○	
	世界経済論	M-ECN227	200	講義	4	グローバル化が進化する世界経済で、日本の経済が貿易や金融投資などを通じて外国とどのように繋がっているか、海外との取引や経済活動が私たちの生活にどのような影響を与えているのかを考察する。	(1)日本を取り巻く世界の経済の状況を概観できる(2)日本と世界の経済が直面する諸問題を理解する(3)日本と世界の経済の将来を展望できる。			○		◎		○
	国際金融論	M-ECN316	300	講義	4	国際通貨システムの歴史および理論について学び、基礎的な知識を習得する。	国際通貨システムの歴史を理解し、国際金融の理論について基礎的な内容を要約し、国際金融の特徴・問題点・対応策について議論できる。			◎	◎	○	○	
	国際貿易論	M-ECN317	300	講義	4	ミクロ経済学的应用分野としての貿易理論を理解し、現実的な国際貿易のあるべき姿を模索する。	現実に採用される各種貿易政策や貿易をめぐる合意事項について、国際貿易理論を踏まえて、自分の意見を述べる事ができる。			◎	◎	○	○	
	開発経済学	M-ECN304	300	講義	4	経済開発の諸理論を歴史的な視点から学び、実際の経済開発過程で生じる産業構造変化を産業連関表を利用して分析する。	開発経済学の歴史について基礎的な知識を身に付ける。開発途上国の経済発展に関する様々なテーマを実証的に分析し、自分の意見を述べる事ができる。			◎		◎		○
	多国籍企業論	M-MNG315	300	講義	4	21世紀の国際経済社会の問題、課題を理解し、経済潮流を踏まえ、多文化世界での多国籍企業活動、特に日系多国籍企業の備える特性とその活動を通して、その在り方を考究する。	社会的責任の時代において、成長の牽引役となる新興国を巻き込みつつ、経済潮流の主体として活動する、国家と比肩し得る程の影響力を持った多国籍企業について考究する。			◎		◎		○
国際政治学	M-POL201	200	講義	4	「国際社会の紛争と協調」について、基本的な捉え方、歴史的な背景、今日の諸課題をとりあげて、国際政治の知見を深める。	(1)国際政治の多様な考え方を理解し、それらを組み合わせた分析をできるようにする。(2)地域の諸問題を国際的な視野の中で捉え、両者の相互作用を説明できるようにする。(3)さまざまな社会現象を多角的に考察し、バランスのとれた提言をできるようにする。	○				◎	○	◎	

科目区分 専門分野	授業科目名	科目コード ナンバリング	ナン バ リ ン グ	科目 種別	単 位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を追いとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー						
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
国際政治等	中東の政治と外交	M-ARS219	200	講義	4	現代の中東地域諸国の国内情勢、中東地域政治、および中東地域に関する域外大国の政策について包括的に考察する。	複雑な現代中東地域政治の基本的構造を理解することでニュース等報道される中東情勢について関心を持つような知識を習得する。	○					○	◎
	国際法	M-LAW201	200	講義	4	国際法の全体像をつかみ、国際社会で起こっていることを法的な側面から捉え、国際社会の平和や将来像について考える。	(1) 国際法の基本的な概念や用語を理解し、説明できる。(2) 国際社会における出来事を法的側面からも考えられる(3) 国際社会への関心を自ら深める。	○			◎		○	○
	国際関係論	M-IRE310	300	講義	4	国際関係にかかわる現代の様々な論争のイシューに関して、具体的かつ詳細に議論する。	複雑な国際情勢を作り出す様々なイシューに関して、自分の立ち位置を見極め、極論を排して最も妥当な形で解決策を模索する姿勢を身につける。				◎		○	◎
	国際経済法	M-LAW305	300	講義	2	(1)国際経済法(特に貿易に関する規則群)の基本的な概念や用語を理解する。 (2)国際社会で出来事について、法的な側面から考える。	(1)国際経済法に関し、各自の目標を設定し主体的に学修ができる。 (2)経済・貿易に関する法律、人権や環境問題に係わる法律など、幅広く多面的に理解できる。		○		◎		○	○
地域・公共	公共経済学	M-ECN208	200	講義	4	公共経済学としての重要な課題として、経済活動に関する市場の役割と限界、市場制度を補完するための公共部門・政府の役割、市場の失敗と政府の失敗等を学ぶ。	(1)市場機構のメリットとデメリット、(2)市場を補完する政府の役割、(3)市場の失敗と政府の失敗、(4)公共経済問題の本質・解決方法について理解し、現実の問題につき実践的な解決策を議論できる。		◎	○			◎	○
	財政学	M-ECN211	200	講義	4	税制改革や財政赤字削減のような、政府に関わる重要な財政問題について、現状や歴史、より根本的・体系的な側面、解決策を学ぶ。	税制改革や財政赤字削減などについて、現状や歴史、経済学的な視点、解決策について、説明や判断ができる。		◎	○			◎	○
	地域経済論	M-ECN213	200	講義	4	国民経済とそれを構成する地域経済について学び、高度な相互依存性をもつ地域同士の経済関係が国民経済全体とどのような関係をもち、国際分業にどのように参加しているかを学修する。	実際に現場で使われている経済理論の有用性を体感することを到達目標とする。地域のニュースや開発計画などに触れ、自分の意見を持つ。		◎	◎			○	○
	地域デザイン	M-ARS208	200	講義	2	少子高齢化、グローバル化等地域が直面する課題を多様な視点から考察。自治体、企業、住民等が強みをいかし利害調整しながらゆたか地域をみだそうとする姿を知り、その成果を活用できるよう準備する。	地域の在るべき姿を自分の言葉で描き出し、その実現に向けて必要な方策を打ち出すことができる。			○	◎		○	○
	経済政策論	M-ECN310	300	講義	4	ミクロ経済学およびマクロ経済学の基本的な理解を前提として、経済政策の手段と効果について、主として理論的な観点から分析を行う。	ミクロ経済学およびマクロ経済学の基本的理解、およびそれらを用いての現実の経済政策の評価の手法を習得する。		◎	○			◎	
	日本経済論	M-ECN326	300	講義	4	日本経済の現実に照し、実際に採用された経済政策に関して、既存の経済理論との関係を確認し、その成否を経済データを用いて検証する。	日本経済の特徴について、経済政策との関連で実証結果を用いて合理的に説明ができる。		○	◎		○		○
	環境経済学	M-ECN361	300	講義	4	グローバルな環境問題を取り上げ、環境経済学の基本概念を分かりやすく学び、外部性、環境の経済評価、持続可能な発展を中心に理解を深める。	現代の環境経済学の基礎概念・分析方法を理解し、環境の経済評価の手法を修得し、持続可能な経済発展について自分の意見を述べる事ができる。		○	○			◎	○
	都市の経済学	M-ECN325	300	講義	4	都市経済に関する基礎的な専門知識を講義したのち、課題解決型学習(PBL)として、都市・都市圏の魅力度ランキングをチームで作成する。ランキング作成を通して、都市・都市圏とは何か、魅力とは何か等について、総合的に考察する。	経済社会の一員として求められる経済学の考え方を活用し、都市及び都市圏について比較考察することができる。			○			◎	○
	労働経済学	M-ECN359	300	講義	4	労働市場の特徴を学び、日本の賃金決定システムについて理解を深め、賃金を決定する要因を説明する理論を学修する。	賃金決定理論や社会制度を理解し、新聞や雑誌などの情報を理解できる。また雇用制度や年金制度の変遷など労働環境を取り巻く制度と現状を知り判断できる。		○			◎	◎	○
	現代の労働法と労働政策	M-LAW312	300	講義	4	日本や海外での雇用関係(働くこと、人を使うこと)における現代的な課題を理解するために、労働法と労働政策の基本と活用についての視点と知識を学ぶ。	労働法と労働政策の基本的な考え方と内容を理解し、社会に出て、日本あるいはアジアなど海外で仕事をするとき直面するかもしれない問題に対し、それらの法律と政策を検討し活用するための視点と知識を持つようになる。		○			◎	○	○
	地方財政	M-ECN324	300	講義	2	地方財政に関する基礎的な知識を習得し、その現状と課題を学ぶ。地方財政の問題を解決するための政策を理解する。	地方財政の現状と課題を、自分の言葉で説明できるようになる。地域で生きる社会人(公務員だけではない)にとって必要な知識を修得できる。			◎	◎		○	
	行政法	M-LAW310	300	講義	4	行政法の基礎を理解し、身近で重要な法律の一つである「行政法」に関する具体的なケースを取り上げて学ぶ。	行政法が私たちの実際の生活とどのように関係し、人々の生活や行動と結びついているのかを説明できる。		○			◎	○	○
	スポーツと法	M-LAW202	200	講義	2	スポーツに対する法律の関わり方に関する基礎的な知識を得る。	スポーツにおける法律の関わり方を知り、スポーツのルールや法律の機能について理解できる。	○					◎	◎
スポーツの歴史と文化	M-SOC209	200	講義	4	スポーツを一つの文化として捉え、それが近現代社会のなかでどのような歴史を経て人びとに受け入れられてきたかを理解し、そこから自分の言葉で今後のスポーツのあり方を考えていくことができるようになる。	近現代社会において、スポーツがいつ頃からいかに受容されたのか、その過程でどのような軋轢や抵抗、また進歩や発展が示されたのか、従来からある価値意識とどのように融合してスポーツが展開してきたのかを理解し、それを踏まえて、将来のスポーツのあり方を自分で考えられるようになる。	○	○					◎	

